

グループとして扱う商材が増え、拡販面での相乗効果が見込まれる。またイノウエは近年エンジンアリング機能を強化しており、エネルギー産業向けにビジネスを展開する西華産業との連携によるシナジーにも期待する。

イノウエは今後、竹本の収益体質強化に向けたソフト・ハード両面での投資を行っていく。両社は6月からすでに社員間での交流を始めており、井上社長は「社員にも刺激があるはず。互いに高め合っていければ」と話した。

・兵庫県神戸市、社長

・木村賢児氏)の株式譲受を3日に完了し正式に子会社化した。経営体制は変更しないが、井上社長が代表取締役会長兼営業本部長に就任した。イノウエグループとしての扱い商材拡大による拡販効果、エンジン機能を活用したシナジーが期待さ

高合金
ステンレス
流金のイ

配管機材卸の「竹本」子会社化

扱い商材拡大、販売強化

ステンレス・高合金 区、社長・井上浩樹氏

流通大手のイノウエ は配管部材・プラント

(本社・東京都千代田) 機材卸売の竹本(本社

れる。 竹本は総合機械商社である西華産業の100%子会社だったが、株式の9割をイノウエが取得し、1割は西華産業が保有する。もと

もイノウエは西華産業子会社の日本ダイヤバルブの代理店として長く活動し、西華産業

はイノウエから発電所向け配管部材等を調達しているなど両社の関係は深い。井上社長は「(竹本は)イノウエに任せた方が伸びるのでは、と西華産業から直接声を掛けていただいた。身の引き締まる思いだ」と話す。

買収によりイノウエ

